

後援会会報

Vol. 25

Maebashi Institute of Technology Supporter's Association



第23回翌檜祭の様子

後援会会長 挨拶

学ぶ喜びと実り多き
学生生活のために



令和4年度
前橋工科大学後援会
会長
飯井 雅裕

日頃より前橋工科大学の後援会活動にご理解を賜り誠にありがとうございます。後援会会長として2年目を務めております。今年度は三年ぶりに対面での総会を開催し、学園祭である翌檜祭の模擬店に後援会として参加することができました。翌檜祭は、学生皆さまの努力と工夫のもと成功裏に開催されました。今まで我慢を強いられてきた学生同士や地域の方など多くの人々との交流に、目を輝かせ生き生きと活動している様子に私も大きな喜びを感じました。

多くの社会的課題を考えても、工学の分野が深く関わっています。言い換えれば、常にその成果が社会に生かされる学問が工学であると言えます。多くの企業が社会の貢献を理念に掲げています。工学で学んだ柔軟な発想や技術力は社会や企業から期待される大きな力となることでしょう。

前橋工科大学は地域に愛され、いろいろなことにチャレンジできる大学であると思います。今年度新たな体制に入り、多様化する社会に心えるべく幅の広い教育プログラムが始まりました。大学での学びと交流は社会人に向けてかけがえのない財産になると考えます。後援会では学生たちが学ぶことの喜びと誇りを持つて実り多き学生生活が送れるよう支援を行います。後援会の活動に今後共々協力よろしくお願いたします。

工学部の分野は、多様化している現代社会の課題にさまざまなアイデアを生み出すことのできる重要な領域であると思います。環境問題や資源・エネルギー、医療・福祉、都市問題など

科学する人材を輩出すべく

理事長

福田 尚久



本学学生の保護者で構成される後援会員の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本学に対し様々なご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年4月に理事長に就任して以来、本学を飛躍的に発展させるための第一歩として、ガバナンス改革を進めてまいりました。諸課題が山積する中、誰がどのよう
に意思決定を行うのかを明確に規定し直し、同時に優秀な教員一人一人が力を発揮できるように人事評価制度を刷新し、教職員が自らの責任において様々な問題に対処できる体制へ移行するなど、組織

全体が目的に向かって有機的かつ効率的に機能する仕組みを構築しつつあります。先が読めない時代と言われて久しくな

りましたが、昨年のロシアによるウクライナ侵攻により、世界経済の行方や日本を取り巻く国家安全保障に関しても、先行き不透明な時代になっています。私たちの生活、仕事、社会、全ての面において様々な問題が表面化してきています。

今、社会に求められているのは、このような諸課題に対して、これを科学し、根本原因を究明し、対処方法を生み出し、そして対処して問題を解決していくことです。もはや従前通用していた解決策や常識は一切通用しないと考え、ゼロベースで対処していくことが求められています。

本学のある前橋市は、政府が推進するデジタル田園都市国家構想において、全国6カ所のうちのひとつとしてリーダー型のモデル地域に選定されました。デジタルの力を活用しながら社会変革を進める

ことで、そこで生活し、勉強し、仕事し、訪問してくる人たちが、ウェルビーイングでいられる、つまり幸せを感じられる街づくりを進めています。そしてその推進母体は、民学産官金（金は金融）が一体となった取り組みを行なっており、前橋の際立った特徴となっています。

様々な社会問題を科学し、解決策を生み出し、実際に解決にあたる取り組みは、地元前橋が全国のモデル地域として取り組んでおり、まさに目の前に生きた、現在進行形の教材があります。本学は、この取り組みに積極的に参画するとともに、この取り組みを通して学生一人ひとりが科学する力を養った上で、社会に飛び立っていく姿を見送りたい、そんな想いで本学の更なる発展を実現していきます。

後援会員の皆さまには、本学の取り組みに対してご理解を賜り、ご支援をお願い申し上げます。後援会のさらなる発展をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

Z世代はサイボーグか？

学長

今村 一之



本学のキャンパスで学んでいる学生達は、「Z世代」と呼ばれ、生まれた時点でインターネットが利用可能であったということです。また、彼等はパソコンよりもスマートフォンを日常的に使いこなし生活の一部となっているスマホ世代でもありま

す。コロナウイルス感染症拡大で遠隔講義を余儀なくされた際にも、Zoom等を用いた双方向授業を比較的スムーズに導入することができたこともZ世代の学生が対象であったからかもしれません。全国的な調査において対面講義より遠隔授業が望ましいと答える学生が相応の数存在することが報告されています。時差の問題はあるにしても、国外との遠隔交流などもこの方法を活用することで可能になってきております。Z世代にとって「情報は、時空間を超越する」ことは常識であるでしょう。サイボーグは、「機械が体の中に埋め込まれているか、外にあるかは関係がない」とい

う考えがあります。スマホという機械が肉体と一体化している状態で、すでにサイボーグの定義は満たしていることになるかもしれません。Z世代はサイボーグへと進化し続けている過程ということもできるでしょう。

新たな大学教育のあり方が模索されている中で、本学のような比較的小規模な大学の小回りの良さがチャンスとなるよう大学改革に取り組んで参ります。

これからの時代をリードしていく若者の育成を目指す本学の挑戦に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

翌檜祭復活!!

令和4年10月15日(土)・16日(日)に、第23回翌檜祭が開催されました。今回の翌檜祭のテーマは「3D2Y~夜明け~」。大人気漫画「ワンピース」からの引用で、新型コロナウイルス感染症の影響で翌檜祭が2年(2Y)間開催できなかったこと、先々代・先代・当代の3代(3D)分の想いを込めてこのテーマにしたそうです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、中止になっていたため3年ぶりの開催となりましたが、メインステージのイベントとして、各部活の発表やクイズ大会やお笑いライブなどが行われました。また、サブステージでは軽音部によるライブが行われ、模擬店の出店も行われました。後援会からも役員が群馬県の郷土お菓子を学生に味わってもらおうと、焼きまんじゅうを出店し、完売いたしました。参加された方々の笑顔がとても素敵でした。



令和4年度 入学式



令和4年4月4日(月)昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて、入学式が挙行政されました。

工学部……………308名 博士前期課程……………50名
博士後期課程……………2名

「予測困難な時代を私たちは生きています。本学が学科再編のビジョンとして掲げる『時代の変革に対応できる人材の育成とそれを可能にする可塑性を持つ大学組織の構築』のもと、皆さんがその新しいシステムで学ぶ最初の学生となったわけです。高度専門技術者を目指す皆さんが前橋工科大学において楽しく学ぶことができますように祈念しています。」と式辞が述べられました。

令和3年度 学位記授与式



令和4年3月25日(金)昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて、学位記授与式が挙行政されました。

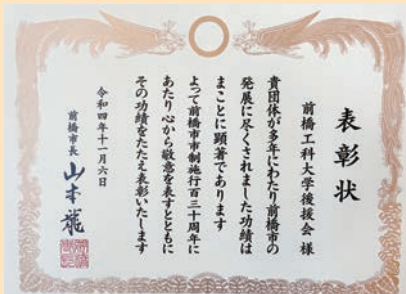
工学部卒業……………276名 博士前期課程修了……………43名
博士後期課程修了……………4名

「学位記は、自らの路を選択し、自分の意図や構想を、あるいは発想や夢を実現しようとする可能性と行動力を修められたことを証するもの。これからは自分自身で考え、行動し、工夫して、どのような困難に直面したとしても、本学で学んだことを基盤に、それに向かっていくことができるものと信じています。」と式辞が述べられました。

後援会活動アラカルト

前橋工科大学バッグ

前橋工科大学では、後援会・同窓会で「前橋工科大学バッグ」を、作成しています。大学バッグは、学位記授与式・入学式・オープンキャンパスなど、各種行事やイベントで活用されています。今年度の後援会総会でも配布しておりますので、ぜひご活用ください。



前橋市市政130周年!

前橋市市制130周年記念式典において、後援会が、平成24年当時の市立前橋工科大学に対して行った物品寄附に対し、その功績が認められ、前橋市長より表彰を受けました。後援会からは、飯井会長が式典に参加されました。

後援会 役員募集

後援会では、共に活動頂ける役員を募集しています。学生達を支援する活動の企画や、学園祭での模擬店出店などを通じ、大学を支援しながら大学や学生の様子を知ることができます。ご興味のある方は、前橋工科大学後援会事務局までご連絡をお待ちしております。



令和3年度前橋工科大学後援会収支決算書

（収入の部）		（単位：円）		
項目	令和3年度収入額	備考		
1 会費	15,590,000	@50,000×285名	@40,000×3名 @20,000×55名	
2 繰越金	9,764,672	前年度繰越金		
3 雑収入	176	利息加入		
収入合計	25,354,848			
（支出の部）		（単位：円）		
項目	令和3年度予算額	支出額	備考	
1 会議費	500,000	1 会議費 97,306	総会、役員会、懇談会、合同新年会等	
2 総務費	3,541,000	1 交際費 30,000	入学式・学位記授与式生花代等	
		2 需用費 43,673	事務用品等	
		3 役務費 171,324	通信費、振込手数料	
		4 委託料 2,637,495	事務委託料	
3 事業費	16,350,000	1 事業費 2,738,143	会報作成、卒業記念品、大学バッグ作成等	
		2 助成費	0	学園祭助成（翌檜祭）
			892,989	学校・学科助成
			0	部活動助成
			0	学生・福利厚生助成
		672,000	教育支援助成	
		5,797,700	生協助成	
就職活動費 801,400	就職活動費			
保健費 57,900	保健費			
4 予備費	3,974,000	予備費	0	
予算額合計	24,365,000	支出合計	13,939,930	



令和4年6月11日（土）に「令和4年度後援会総会」を、3年ぶりに大学を会場として開催いたしました。また、今年度より出欠に関しまして、はがきからアンケートフォームによる確認に変更いたしました。総会では、飯井会長の議事進行により、5つの議案に

総会

後援会助成事業

令和4年度前橋工科大学後援会収支予算書

（収入の部）		（単位：円）		
項目	本年度予算額	備考		
1 会費	16,030,000	@50,000×300名	@30,000×6名 @20,000×42名 @10,000×1名	
2 繰越金	11,414,918	前年度繰越金		
3 雑収入	82	利息加入		
収入合計	27,445,000			
（支出の部）		（単位：円）		
項目	本年度予算額	備考		
1 会議費	500,000	1 会議費 500,000	総会、役員会、懇談会、合同新年会等	
2 総務費	3,550,000	1 交際費 50,000	入学式・学位記授与式生花代等	
		2 需用費 550,000	事務用品等	
		3 役務費 300,000	通信費、振込手数料	
		4 委託料 2,650,000	事務委託料	
3 事業費	17,860,000	1 事業費 3,000,000	会報作成、卒業記念品、大学バッグ作成等	
		2 助成費	1,000,000	学園祭助成（翌檜祭）
			2,000,000	学校・学科助成
			1,800,000	部活動助成
			500,000	学生・福利厚生助成
		2,500,000	教育支援助成	
		6,000,000	生協助成	
就職活動費 1,000,000	就職活動費			
保健費 60,000	保健費			
4 予備費	5,535,000	予備費	5,535,000	
支出合計			27,445,000	

『デザイン採用者』
【デザイン採用者】
総合デザイン工学科の落合心之介さん
『前橋工科大学の特長である地域に根ざす大学』をテーマ

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、翌檜祭が中止になったことから、オリジナルタオルマフラーを作成し、学生に配布しました。このタオルマフラーのデザインは学生から募集し、応募のあったデザインの中から教職員・後援会役員・学生で選考し、デザインを決定しました。



支援・助成事業

オリジナルタオルマフラー作成

ついて審議いただき、全ての議案が承認されました。総会の後には、前橋工科大学理事長の福田尚久氏を講師としてお招きし、ご講演いただきました。

マに、地域とともに工学をとおして、発展していくという意味を込め、歯車を工学という概念で表し、その1つ1つを地域、企業として表現した。前橋工科大学としての個性をもって未来へ飛翔するというイメージを理系大学ならではの数学のベクトル表記で頭文字の「M」をデザインした。

TOEIC受験料支援

今年度も、TOEIC受験料支援を行っています。対象は、令和4年4月～令和5年2月に実施された公開TOEICで、1年間に1人2回まで申請が可能です。1年生については、4月に大学で行う一斉受験に1回の支援を充てています。高得点を取得し、同窓会からTOEIC成績優秀者として、表彰を受けている学生もいます。

※今年度の申請期限は、令和5年3月29日（水）まで。

英会話教室

今年度後期に3年ぶりとなる英会話教室を開催しました。例年春と秋の2回開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での開催が難しかったことと、英会話はコミュニケーションが主となるため、オンラインでの開催も難しく、中止しておりました。事前の希望調査人数を上回る15人の学生からの申し込みがあり、毎週火曜日に集まって、会話を中心とした授業に積極的に取り組む学生達の様子が見られました。

生協利用券

会員全員に、「生協利用券」を配布しました。こちらは、生協の売店と食堂で使える300円の券が10枚綴りで合計3000円分を利用することができます。

※今年度の利用期限は、令和5年3月17日（金）まで。

大学からのご案内

OPEN CAMPUS

令和4年8月10日（水）11日（木）に3年ぶりに対面によるオープンキャンパスが開催されました。たくさんの高校生が県内外から訪れ、模擬授業や学群説明に参加し、熱心に耳を傾けていました。



Welcome Party・球技大会

今年は、学生自治会主催の Welcome Party や、球技大会も行われました。新型コロナウイルス感染症の影響はまだありますが、学生の交流の場が少しずつ増えてきています。



総合デザイン工学科

「小屋のデザインによる空間表現展 2022」

総合デザイン工学科2年生の授業「エンジニアリングデザインワークショップ」で学生の手により制作された”小屋”が前橋工科大学キャンパス中庭に展示されています。



前橋工科大学では、インスタグラムでも情報の配信を行っております。保護者の皆様からのフォローを、お待ちしております。



UNIVERSAL PASSPORT について

UNIVERSAL PASSPORT (UNIPA) とは、前橋工科大学内関係者専用サイトです。

このサイトでは、学生の成績や、授業への出席状況のほか、大学からのお知らせ掲示等が閲覧できます。

利用の際、必要となる ID・パスワード情報につきましては、既に保護者の皆様から郵送しておりますので、紛失等、ご不明な場合には、大学事務局学務課教務係までお問合せください。

また、初めてご利用の際には、ログイン後にメールアドレスのご登録をお願い致します。

<https://portal.maebashi-it.ac.jp/uprx/>



卒業後の進路

令和4年3月卒業現在

令和4年3月卒業生の就職先

※一部抜粋して掲載

大学(学部)	社会環境工学科	(株)浅沼組 いであ (株)荻野製作所 石川県庁 福島県庁 山形県庁 他	システム生体工学科	(株)OKIアイティエス サンコムシエンジニアリング (株) (株)タカインフォテクノ データライブ (株) 他
	建築学科	(株)アーキズムあすか設計 (株)アイダ設計 山形県庁 板橋区役所 他	生物工学科	(株)アイム (株)アセラ ALSOK群馬 (株) 嬭恋村役場 他
	生命情報学科	(株)アウトソーシングテクノロジー アジアクエスト (株) 富岡市役所 行方市役所 他	総合デザイン工学科	(株)アイ・ティー・ワン 朝日ホーム (株) 池下工業 (株) 岩手県庁 足利市役所 中山町役場 他
	大学院	建設工学専攻	(株)大林組 (株)J-POWER設計コンサルタント 大日本土木 (株) 他	システム生体工学専攻
建築学専攻		(株)アルテス (株)石井設計 (株)WIZU (株)榎本建築設計事務所 他	生物工学専攻	(株)アールピーエム NECネットエスアイ (株) 群馬県庁 他
生命情報学専攻		(株)Ki-no (株)日立社会情報サービス (株)ベイシア 他		

※詳細は大学キャリアセンターHPをご覧ください。

<https://www.maebashi-it.ac.jp/career-center/>



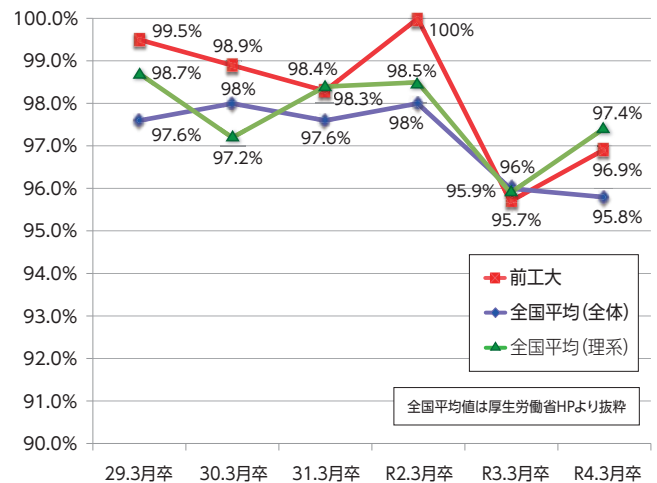
令和4年3月卒業生の大学院進学先

大学(学部)	社会環境工学科	前橋工科大学大学院 山梨大学大学院
	建築学科	千葉大学大学院 東京工業大学大学院 東京都立大学院 前橋工科大学大学院 メルボルン工科大学
	生命情報学科	東洋大学大学院 横浜市立大学大学院 前橋工科大学大学院
	システム生体工学科	埼玉大学大学院 東京工業大学大学院 前橋工科大学大学院 北里大学保健衛生専門学校
	生物工学科	九州大学大学院 静岡大学大学院 東北大学大学院 広島大学大学院 前橋工科大学大学院
	総合デザイン工学科	前橋工科大学大学院

令和3年度 学部卒業生 就職・進学状況

工学部名	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	大学院進学者	専門学校等進学者	その他
社会環境工学科	52	45	45	100.0%	7	0	0
建築学科	49	33	33	100.0%	15	0	1
生命情報学科	48	37	35	94.6%	9	0	2
システム生体工学科	37	17	14	82.4%	18	1	1
生物工学科	44	31	31	100.0%	12	0	1
総合デザイン工学科	37	30	29	96.7%	1	1	5
合計	267	193	187	96.9%	62	2	10

学部学生就職率の推移



※「就職率」は、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職を希望する者(就職希望者)に対する就職決定者の割合であり、進学・自営業・家事手伝い・留年・資格取得等を希望する者は含まれません。

令和3年度 大学院修了者 就職・進学状況

工学研究科専攻名	修了者数	就職希望者数	就職者数	就職率	後期課程進学者	専門学校等進学者	その他
建設工学専攻	7	7	7	100.0%	0	0	0
建築学専攻	9	9	8	88.9%	0	0	0
生命情報学専攻	3	3	3	100.0%	0	0	0
システム生体工学専攻	7	7	7	100.0%	0	0	0
生物工学専攻	8	8	8	100.0%	0	0	0
合計	34	34	33	97.1%	0	0	0
環境・生命工学専攻	3	1	1	100.0%	0	0	2
合計	3	1	1	100.0%	0	0	2

後援会からのお知らせ

後援会活動についての詳細は、下記ホームページをご覧ください。

学生たちが充実した学生生活を送る事が出来るよう、保護者の皆様から後援会に対するご意見・ご要望などをお待ちしております。

前橋工科大学後援会事務局 (前橋工科大学事務局学務課学生支援係内)

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460-1
TEL: 027-265-7361 FAX: 027-265-3837

E-mail: kouenkai@maebashi-it.ac.jp
ホームページ: <https://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>

